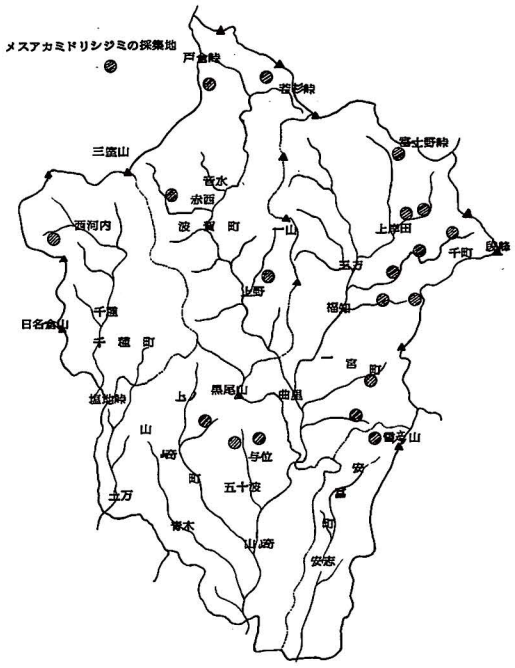
幹からも発見される事もある。福知渓谷において直径35㎜以上のかなり太い樹上より数卵採集した経験がある。産地に自生している、ヤマザクラ、ミヤマザクラ、キンキマメザクラ等数種のサクラ類のいずれもから卵が発見出来るが、ソメイヨシノに対する嗜好性はあまりないようで、ほとんど卵は発見されない。しかし飼育の際に与えればソメイヨシノでも十分に発育し、成虫の大きさにも変わりはない。尾崎氏によれば、栽培されているサクラの種類でも十分に飼育可能であるという。

自然界における孵化は3月下旬頃より4月上旬にかけておこるらしく、筏での1979年における3月26日の調査では、すでに孵化してしまっている卵がかなりまじって発見されている。羽化は早いもので6月上旬、普通は中旬頃よりおこるらしいが、羽化後♀はかなり長期間生きているようで、7月19日に比較的新鮮な♀を採集した記録もある。

以上、これまでに判明している宍粟郡のメスアカミドリシジミの分布について、いくらかの観察結果等もまじえて述べて来たのであるが、まだまだ調査不十分の所もかなりある。今後のより精力的な調査を期待したい。なお、筆をおくにあたり、資料の提供等色々と御教授いただいた相坂耕作、入江照夫、尾崎勇、川崎悟良、木村三郎、佐々木薫、苦木隆幸、広畑政己、八木弘の諸氏に末筆ながら深くお礼申し上げる。




## 参考文献

(1) 広畑政己（1979）：安富町大河弁獄7月上旬の蝶（ひろおび、No.4.：18）
(2) 八木　弘（1980）：蝶の飼育を試みて（ひろおび、No.5.：19～20）
(3) 佐々木薫（1980）：宍粟郡一宮町にヒサマツミドリシジミを求めて（ひろおび、No.5.：23）
(4) 尾崎　勇（1980）：兵庫県の蝶(1) 千種川水系の蝶相.（ひろおび、No.5.：24～30）
(5) 神戸新聞社学芸部（1974）：兵庫探検自然編（神戸新聞社）
(6) 山本広一（1954）：播磨雪彦山の蝶（兵庫生物、Vol.2.No.4～5：226～227）
(7) 高田忠彦・井手敏晴：兵庫県産蝶類調査報告〔Ⅰ〕シジミチョウ科（その1）

(S. 02：IWAO IWAMURA 姫路市)

# 相生市のナガサキアゲハについて

米村和繁

1980年5月24日に相生市陸にてナガサキアゲハの♀が一頭採集され、同時に蛹も2匹採集されていた。確認の為、採集者宅を訪問して尋ねてみると、付近のキンカンの木にて採集したものであった。この蛹は越冬したものであるが、おしくも寄生されていた。

5月中旬御津町室津にて♀を採集し、産卵させ飼育をしたものを川原町にて15頭放して結果をみた。7月中旬の天気の良い日には、ミカンの木にて産卵行動がみうけられた。私の家の前のミカンの木にて産卵している♀は、私が放した♀ではなかった。

市内のあちこちでナガサキアゲハの幼虫もとれている。鰯浜地区に於てもナガサキアゲハをよく見ると浜田氏から聞いている。9月3日に矢野町能下にてナガサキアゲハの♂がクサギの花にきているのを目撃、相生市の北のはしまで入りこんでいる。相生2丁目にて9月3日に完品の♂♀を1頭づつ目撃した。この場所は、7月中旬に産卵していた木でもある。相生市に於ては5月中旬、7月上旬、9月上旬と3回発生していることになる。来年も自然の状態で観察していきたい。

(S. 29：KAZUSHIGE YONEMURA 相生市)